

かぶろう！あなたとあなたの大切な人を守るために

岡山市・岡山大付属小4年 岩上 竜之介さん

自転車ヘルメット着用しよう



チラシを配り着用体験会への参加を呼びかける矢吹さん（左）



ヘルメットの着用を呼びかける生徒ら

「推進リーダー」 操山高生3人活動開始 岡山中央署任命

あなたの命を守るヘルメット、かぶって通学を。岡山中央署は、操山高（岡山市中区浜）の生徒3人を「自転車ヘルメット着用推進リーダー」に任命した。率先してヘルメットを着ける姿を見せるほか、校内や地域で着用を呼びかけ、同世代の着用率アップを目指す。任期は来年3月末まで。3人は2年の堀端遼菜さん（17）と田中明（18）と矢吹真理乃さん（15）。同高が7月、署の「自転車ヘルメット着用推進モデル校」に指定されたのを機にリーダーを募集。立候補や推薦で9月に選ばれた。

理由を「着脱の手間やデザインが格好悪い」というイメージが強いためでは」と分析。打開策としてさまざまなバリエーションのヘルメットを紹介する着用体験会を署員らと企画し、9月下旬に岡山市内で開いた。当日は11種類を用意し、高校生らに着用してもらった。有志の生徒らも協力し着用を呼びかけた。体験会後、矢吹さんは「種類が増え選択の幅が広がっている。おしゃれなデザインもあると知ってもらえたと思う」と話した。

岡山県警によると、2014〜23年に県内で発生した自転車事故による死亡者のうち4割以上が頭部を損傷。ヘルメット非着用だと、着用時に比べ致死率が約3・5倍にはね上がるというデータもあるという。県内の着用率は7月調査で11・5%。全国平均（17・0%）を下回っている。堀端さんは「周りがかぶっていないからと着用をためらう人多いはず。かぶるのが当たり前という風潮をつくりたい」と意気込んでいる。（柴田紗弥）

みなさんは、自転車に乗る時、ヘルメットをかぶっていますか？

ヘルメットは、自分を守るものだと、多くの人が知っています。でも、自転車で出かけて周りを見てみると、かぶっていない人の方が多いです。

今、ヘルメットはスーパーやホームセンターなどの身近なところで売られていて、色や形もおしゃれなものがたくさんあります。ぼくも新しいヘルメットを買う時に、ぼつしの形のものやスポーツタイプなど、色々かぶったりしてみました。ぼつしや女の子のヘアアクセサリのように、楽しみながらヘルメットをかぶれたらいいなあと思います。この記事を読んだ人に、今のヘ

ルメットのかっこよさと、かぶる大切さを知ってほしいです。

記事には、県内の過去十年間の自転車事故の死亡者のうち、四割以上が頭部を損傷とありました。実は、ぼくの兄が、自転車に乗っている時にギアが外れてブレーキがきかなくなり、速いスピードで電柱にぶつかって、冬の田んぼに落ちました。一緒だった父によると、兄は気を失っていたようです。しばらくすると元気になる、けがなどもなく、家族みんなでホッとしました。でも、ふと、ヘルメットを見るとぶつかった部分はへこみ、内側のクッション材は割れていました。ヘルメットのおかげで兄は無事だったので

す。ヘルメットを兄の頭そのものに置きかえて想像したら、とてもこわくなりました。こわれたヘルメットは、あらためてヘルメットの大切さを教えてくれました。

出かける時にくつをはくように、自転車に乗る時にヘルメットをかぶる習慣が当たり前になることが、自分の大切な人たちを安心させ、悲しませないためにできることだと、ぼくは思います。そして、ぼくが大切に思っていることを伝えて、「ヘルメットをかぶって自分を守ってほしい」と声をかけたいです。まずは、ぼくの大好きなお母さんから！

寸評

「自転車ヘルメット着用推進リーダー」についての記事を読み、自分の兄がヘルメットのおかげで無事だったことを丁寧に思い出して書きました。「かぶらなければ」と思わせる説得力があります。